

	北波多小学校 学校だより13号	北波多小だより	令和7年7月7日発行 文責 校長 川原 悟
-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------	----------------	--------------------------

9年間を見据えた教育を目指して

北波多は、小学校1校、中学校1校と小中学校が連携するには、とても取り組みやすい環境にあります。特に、令和4・5年度は、佐賀県教育委員会の指定を受けて、「小中連携による学力向上推進地域指定事業」に取り組んできました。このことにより、多くのことを学び、大きな財産を得ることができました。

その学びを活かし、持続可能な小中連携の取組となるように、形を変えながらも継続して取り組んでいます。

先日は、小学校の全学級の授業を公開し、中学校の先生方に参観していただき、一緒に授業研究会を行いました。本校の研究テーマであるユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりの手立てや環境づくり、言葉かけ等、研究会でもそのような成果について出されていました。

このように、小中学校が校種の壁を越えて、同じ土台で話し合うことが違和感なく行われていましたが、このことは、これまでの小中連携の取組の成果だと感じています。

今後も互いの強みを活かし、互いに学ぶ機会を積極的に作りたいと考えています。



あゆみ（通知表）の様式を変更します

あゆみ（通知表）については、前期と後期で配布しており、今年度も同様に行う予定です。前期のあゆみ（通知表）の配布は、10月上旬とまだ先になりますが、今年度は、以下の理由から、担任からの「所見欄」を後期のみへと様式を変更します。

- 前期の担任からの所見欄の内容が夏休み前の個人懇談会で保護者の方にお伝えする内容と重複してしまうことが多いこと。
- 働き方改革を一層進め、子供たちと向き合う時間をより大切にし、教育の質を高めていきたいと考えていること。

そのため、個人懇談会がより一層大切になってくると考えています。学校の様子や御家庭での様子を共有したり、課題があれば今後の目標や取組（手立て）について保護者の方と一緒に考え、必要に応じてお願いしたりさせていただきます。

御理解と御協力よろしく申し上げます。